

# 感染症発生動向調査事業における宮崎県の患者発生状況 —平成 20 年（2008 年）—

塩 山 陽 子<sup>※</sup>・山 本 正 悟・河 野 喜 美 子

## Summary of the 2008 Annual Report According to the National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases in Miyazaki Prefecture.

Yoko SHIOYAMA, Seigo YAMAMOTO, Kimiko KAWANO

### Abstract

Seven cases of Japanese spotted fever were reported, and one case of those was the death example of the fifth cases in Japan.

One case of Dengue fever was reported, and this case was the first report in Miyazaki prefecture.

The total report of influenza and pediatric diseases reported by the sentinel clinics and hospitals was about 94 per cent of 2007, 98 per cent of average report for the past five years.

The each total report of Pertussis, Pharyngoconjunctival fever and Hand,foot and mouth disease were increased in 2008.

There were few reports of eye diseases and target disease at sentinel hospital and not so many reports of a sexually transmitted disease.

**Key words:** Surveillance, Japanese spotted fever, Dengue fever, Hand, foot and mouth disease

### はじめに

当所では、平成 11 年より宮崎県感染症情報センターとして、感染症発生動向調査事業に基づいて感染症情報の収集と解析を行ってきた。解析した情報は週報や月報として医療機関や県民に還元し、感染症の拡大防止や公衆衛生の向上に努めている。

今回、宮崎県における平成 20 年（2008 年）の患者発生状況をまとめたので報告する。

### 調査方法

#### 1. 対象疾患及び定点医療機関

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、感染症法）」で定められた 103 疾患を調査対象とした。

定点医療機関は、感染症発生動向調査事業実施要領に基づき選定した（Table 1）。

#### 2. 調査期間

全数把握対象疾患については平成 20 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで、定点把握対象疾患については 2008 年 1 週から 52 週まで、インフルエンザについては平成 20/21 年シーズンの平成 20 年 41 週から平成 21 年 14 週までをそれぞれ調査期間とし、いずれの疾患も報告日をもとに集計した。

### 結果

#### 1. 全数把握対象疾患の発生状況

##### 1) 一類感染症

報告はなかった。

##### 2) 二類感染症

###### a) 結核 Tuberculosis

報告数は 269 例で、前年の約 1.4 倍に増加した。この増加は、平成 19 年 4 月から結核が感染症法に追加されたため、前年の累積月が 4 月から 12 月と短かったからである。

※高千穂保健所衛生環境課

患者が 152 例，疑似症患者が 45 例，無症状病原体保有者が 70 例，感染症死亡例と疑似症死亡例がそれぞれ 1 例で，肺結核が 128 例，その他の結核（結核性胸膜炎，腸結核，結核性リンパ節炎等）が 38 例であった．地域別では，宮崎市（138 例），都城（29 例），延岡（27 例），高鍋（26 例）保健所からの報告が多かった．男性が 158 例，女性が 111 例で，9 歳以下と 10 歳代がそれぞれ 2 例，20 歳代が 17 例，30 歳代が 23 例，40 歳代が 24 例，50 歳代が 39 例，60 歳代が 40 例，70 歳代と 80 歳代がそれぞれ 52 例，90 歳以上が 18 例であった．

### 3) 三類感染症

細菌性赤痢 1 例と腸管出血性大腸菌感染症 44 例が報告された．

#### a) 細菌性赤痢 Shigellosis

報告数は 1 例で，日向保健所からの報告であった．ベトナム，カンボジアへ渡航歴（ツアー）のある 60 歳代の男性で，発熱，下痢がみられた．海外での生野菜・果物の摂取歴が有り，原因菌は *shigella boydii* であった．

#### b) 腸管出血性大腸菌感染症

##### Enterohemorrhagic *Escherichia coli* infection

報告数は 44 例で，前年及び前々年の約 1/3 と少なく，平成 15 年以来最も少なかった．幼稚園・保育園等，施設内での集団感染が少なかったため，減少したと思われる．集団感染の事例は日南保健所管内の 1 件（6 例/8 例）のみであった．

地域別では宮崎市（16 例）からの報告が多かったが，調理従事者等の健康診断受診者も含まれている．都城・日南（8 例），延岡（7 例），小林・中央（2 例），高鍋（1 例）保健所からも報告された．患者（有症者）が 17 例，無症状病原体保有者が 27 例で，原因菌の血清型は，O157 が 29 例，O91 と O 型不明が各 5 例，O26 が 2 例，O25・O145・O146 が各 1 例であった．年齢別では，4 歳以下の報告が約 3 割と多かった．

### 4) 四類感染症

A 型肝炎 1 例，オウム病 1 例，つつが虫病 37 例，デング熱 1 例，日本紅斑熱 7 例，レジオネラ

症 5 例，レプトスピラ症 1 例が報告された．

#### a) A 型肝炎 Hepatitis A

報告数は 1 例で中央保健所からの報告であった．患者は 70 歳代の男性で肝機能異常がみられた，IgM 抗体が検出された．感染原因・感染経路は不明であった．

#### b) オウム病 Psittacosis

報告数は 1 例（死亡例）で，2 年連続の報告であった．宮崎市保健所からの報告で，患者は 60 歳代の女性．発熱，咳，肺炎，呼吸困難，意識障害，DIC を呈し，ペア血清での抗体価の有意な上昇がみられた．

#### c) つつが虫病

##### Scrub typhus (Tsutsugamushi disease)

報告数は 37 例で，例年に比べ多く，年々増加傾向にある．小林（12 例），宮崎市（9 例），日南（8 例），都城（6 例）保健所からの報告が多く，県北部地域からの報告はなかった．男性が 19 例，女性が 18 例で，10～14 歳と 20 歳代がそれぞれ 1 例，40 歳代が 2 例，50 歳代が 8 例，60 歳代が 14 例，70 歳代が 6 例，80 歳代が 5 例であった．主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹等がみられた．山林や草むらでの作業やレジャーによる感染が多く，飼い猫からの感染も 1 例報告された．痂皮からの病原体検出（PCR）やペア血清での抗体価の有意な上昇等により確認された．

#### d) デング熱 Dengue fever

報告数は 1 例で中央保健所からの報告であった．県内初の報告で，患者はインドネシアバリ島への渡航歴のある 30 歳代の男性であった．

血清型はデングウイルス 3 型で，主な症状は発熱（40℃），全身の発疹，肝機能異常，血小板及び白血球の減少がみられた．他県在住の同行者 2 名（発症例）も含めて国立感染症研究所により確定診断された．

#### e) 日本紅斑熱 Japanese spotted fever

報告数は 7 例で，例年に比べ多く，国内 5 例目となる死亡例も含まれた．宮崎市・日南（各 3 例），中央（1 例）保健所からの報告で，男性が 5 例，女性が 2 例，20・50 歳代がそれぞれ 1 例，60 歳代が 3 例，70 歳代が 2 例であった．主な症状として発熱，刺し口，発疹，DIC，肝機能異常，多臓器不

全等が見られた。山地や山林での作業による感染例が多かった。痂皮からの病原体検出（PCR）やペア血清での抗体価の有意な上昇等により確認された。

#### f) レジオネラ症 Legionellosis

報告数は5例で全て肺炎型であった。宮崎市（2例）、延岡・日向・中央（各1例）保健所からの報告で、県外からの旅行者が1例含まれる。全て男性で、60・70・80歳代がそれぞれ1例、50歳代が2例であった。主な症状として発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、意識障害、肺炎、多臓器不全等がみられた。

#### g) レプトスピラ症 Leptospirosis

報告数は1例で宮崎市保健所からの報告であった。患者は60歳代の男性で発熱、蛋白尿、腎不全、血小板減少がみられた。血清型は Autumnalis で、水田に素足で入った経歴が有り、足に創傷がみられた。

### 5) 五類感染症

アメーバ赤痢4例、ウイルス性肝炎8例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群1例、梅毒8例、破傷風4例、風しん1例、麻しん11例が報告された。

#### a) アメーバ赤痢 Amebic dysentery

報告数は4例で全て腸管アメーバ症であった。宮崎市（2例）、都城・延岡（各1例）保健所からの報告であった。全て男性で、50歳代が2例、30・40歳代がそれぞれ1例であった。主な症状として、下痢、粘血便、腹痛、発熱、鼓腸、便潜血陽性がみられた。職場検診での報告が2例含まれた。

#### b) ウイルス性肝炎 Viral hepatitis

報告数は8例で、宮崎市（5例）、都城（2例）、中央（1例）保健所からの報告であった。6例でB型肝炎ウイルスが、2例でEBウイルスが原因であった。9歳以下が2例、10歳代が1例、20歳代が2例、30歳代が1例、50歳代が2例であった。

#### c) 急性脳炎 Acute encephalitis

報告数は2例で、前年（20例）に比べ少なかった。宮崎市保健所からの報告で、10ヵ月の男児と

3歳の女児であった。主な症状として、発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加等がみられた。病原体はヒトヘルペスウイルス6型とインフルエンザA型であった。

#### d) クロイツフェルト・ヤコブ病

##### Creutzfeldt-Jakob disease

報告数は2例で、共に古典型クロイツフェルト・ヤコブ病であった。宮崎市と中央保健所からの報告で、60歳代と90歳代の男女各1例であった。主な症状として、進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状、意識障害等がみられた。

#### e) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

##### Severe invasive streptococcal infections

報告数は2例で、宮崎市と日南保健所からの報告であった。共に70歳代の女性で、ショック、軟部組織炎、腎不全等がみられた。創傷感染で、右下肢リンパ浮腫や右第4趾の創傷が確認された。

#### f) 後天性免疫不全症候群

##### Acquired immunodeficiency syndrome

報告数は1例で、無症状病原体保有者であった。宮崎市保健所からの報告で、患者は20歳代の男性であった。感染経路は異性間性的接触と推測された。

#### g) 梅毒 Syphilis

報告数は8例で、宮崎市（3例）、小林（2例）、都城・高鍋・日向（各1例）保健所からの報告であった。患者が5例、無症状病原体保有者が3例で、患者は全て早期顕症梅毒のⅡ期であった。男女同数で、10歳代と20歳代がそれぞれ2例、30歳代が3例、40歳代が1例であった。主な症状として硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹（無痛性）、梅毒性バラ疹、扁平コンジローマ等がみられた。感染経路は性的接触（異性間6例、同性間・記載無し各1例）やカミソリの共有と推測された。

#### h) 破傷風 Tetanus

報告数は4例で、延岡（2例）、小林・中央（各1例）保健所からの報告であった。男女同数で、60歳代が2例、30歳代と70歳代がそれぞれ1例であった。主な症状として、筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣、硬直性痙攣、易興奮性等がみられた。右前額部の創傷、雑草のとげや杭による手足の損傷等が確認された。

i) 風しん Rubella

検査診断例 1 例が宮崎市保健所から報告された。70 歳代の女性で、発熱と発疹がみられ、1 回のワクチン接種者であった。

j) 麻疹 Measles

報告数は 11 例で、宮崎市・都城（各 4 例）、中央（2 例）、小林（1 例）保健所からの報告であった。4 歳以下と 8 歳がそれぞれ 1 例、15～19 歳が 3 例、20 歳代が 3 例、30 歳代が 2 例、50 歳代が 1 例であった。ワクチン接種歴が有った者が 5 例、不明又は無かった者が 6 例であった。

## 2. 定点把握対象疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ及び小児科対象疾患

報告総数は 59,664 人（定点あたり 1,500.4）で、前年の 94%とやや少なく、過去 5 年間の平均（以下、例年とする）の 98%と例年並みの報告数であったが、全国に比べると 179%と多かった。

前年との比較では、百日咳が 7.8 倍、咽頭結膜熱と手足口病が 1.8 倍、流行性耳下腺炎と R S ウイルス感染症が 1.4～1.3 倍と多く、感染性胃腸炎、突発性発しん、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎がほぼ同数、水痘とインフルエンザが約 7～8 割、ヘルパンギーナと伝染性紅斑が約 4 割と少なかった。

例年との比較では、百日咳が 4.4 倍、R S ウイルス感染症と手足口病が 2.7～2.5 倍、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が 1.3～1.1 倍と多く、感染性胃腸炎と突発性発しんがほぼ同数、水痘、インフルエンザ、ヘルパンギーナが約 6～8 割、伝染性紅斑が約 4 割と少なかった。

全国との比較では、流行性耳下腺炎、手足口病、RS ウイルス感染症が 3.6～2.6 倍、インフルエンザ、突発性発しん、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘が 1.9～1.5 倍、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、百日咳は 1.2～1.1 倍と多く、伝染性紅斑はほぼ同数であった。

各疾患の発生状況の概要を Table2 に、経時的発生状況を Fig. 1 に示した。その概略は以下のとおりであった。

### a) インフルエンザ Influenza

2008/2009 年シーズンの報告数は、延べ 20,507

人、定点あたり 347.6 であった。前シーズンの 1.5 倍、例年の 1.2 倍で、過去 5 年間で 2 番目に多かった。また、全国と比較すると約 1.4 倍と多かった。

流行の時期は例年どおりであったが、2009 年 3 週に定点あたり 36.3 と急激な増加が見られ、県全体で流行警報開始基準値を超えたため、健康増進課よりインフルエンザ警報が発令された。また、4 週（2 月初旬／定点あたり 64.5）と 12 週（3 月下旬／定点あたり 24.8）に 2 度のピークがみられ、4 週の報告数は過去 3 番目に多いものであった。流行の初期には、A ソ連型（AH1）を中心とした流行であったが、その後の流行期には、A 香港型（AH3）と B 型による患者も確認された。さらに、昨シーズンと同様に夏場も含めほぼ年間を通じて患者の発生があった。

年齢別では、5 歳以下が全体の 38%、6 歳から 9 歳が 27%、10 歳から 14 歳が 17%、15 歳から 19 歳が 3%、20 歳以上が 15%を占めた。小林（定点あたり 635.0）、都城（456.5）、延岡（395.1）保健所から多く報告された。

### b) R S ウイルス感染症

#### Respiratory syncytial virus

報告数は、延べ 1,645 人（定点あたり 45.7）で、前年の 1.3 倍、例年の 2.7 倍、全国の 2.6 倍と多く、流行の年であった。流行の時期は、前年の平成 19 年 49 週から 20 年 4 週までと 20 年 39 週からの冬場で、流行時期や期間は例年とほぼ同じであったが、ピーク時の報告数は例年の 2 倍と多かった。地域別では、延岡（132.5）、高鍋（65.8）、日向（55.3）保健所からの報告が多く、最も多かった延岡保健所管内と少なかった中央保健所管内では 24 倍の差がみられた。年齢別では、1 歳が最も多く全体の約 3 割を占め、2 歳以下で約 9 割を占めた。

### c) 咽頭結膜熱 Pharyngoconjunctival fever

報告数は、延べ 1,352 人（定点あたり 37.6）で、前年の 1.8 倍、例年の 1.2 倍、全国の 1.7 倍と多く、流行の年であった。流行時期や期間は例年とほぼ同じであった。21 週から増加がみられ、32 週には県全体で流行警報開始基準値を超えた。地域別では、日南（76.3）、日向（62.8）、延岡（52.8）、



高鍋 (49.0) , 都城 (40.5) 保健所からの報告が多く、最も多かった日南保健所管内と少なかった中央保健所管内では 153 倍の差がみられた。年齢別では、1 歳が最も多く全体の約 2 割、1 歳から 5 歳で約 8 割を占めた。

d) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

Group A streptococcal pharyngitis

報告数は、延べ 4,069 人 (定点あたり 113.0) で、前年とほぼ同数、例年の 1.1 倍、全国の 1.2 倍であった。地域別では、延岡 (230.3) , 日南 (165.7) , 高鍋 (149.0) 保健所からの報告が多く、最も多かった延岡保健所管内と少なかった高千穂保健所管内では 29 倍の差がみられた。年齢別では、3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

e) 感染性胃腸炎 Infectious gastroenteritis

報告数は、延べ 21,439 人 (定点あたり 595.5) で、前年及び例年とほぼ同数、全国の 1.7 倍であった。例年に比べ流行の始まりの時期がやや遅く、47 週から増加がみられ、50 週に県全体で流行警報開始基準値を超えたため、衛生管理課よりノロウイルスによる食中毒注意報が発令された。また、流行は翌年 (平成 21 年) の 5 週まで続いた。地域別では、小林 (954.0) , 都城 (885.2) , 日南 (712.0) , 日向 (641.0) 保健所からの報告が多かった。年齢別では、1 歳が最も多く全体の約 2 割、1 歳から 4 歳で約半数を占めた。

f) 水痘 Varicella

報告数は、延べ 4,084 人 (定点あたり 113.4) で、前年及び例年の約 8 割と少なく、全国に比べると 1.5 倍と多かった。流行時期や期間は例年とほぼ同じであったが、流行時の報告数が例年に比べ少なかった。地域別では、都城 (154.2) , 宮崎市 (152.6) , 延岡 (129.0) 保健所からの報告が多かった。年齢別では、1 歳が最も多く全体の約 3 割、1 歳から 4 歳で約 7 割を占めた。

g) 手足口病 Hand, foot and mouth disease

報告数は、延べ 5,721 人 (定点あたり 158.9) で前年の 1.8 倍、例年の 2.5 倍、全国の 3.3 倍と多く、流行の年であった。14 週から増加が見られ、20 週には県内全域が流行警報開始基準値に達し、25 週をピークに流行は 32 週まで続いた。ピーク時の報告数が、例年の 4 倍以上と非常に多かった。

地域別では、日南 (226.3) , 宮崎市 (200.0) , 小林 (167.3) , 延岡 (159.5) 保健所からの報告が多く、年齢別では、1 歳と 2 歳が全体の半数を占めた。

h) 伝染性紅斑 Erythema infectiosum

報告数は、延べ 226 人 (定点あたり 6.3) で、前年及び例年の約 4 割と少なく、全国とほぼ同数であった。特に流行の時期はみられなかった。地域別では、日南 (17.7) , 中央 (8.5) , 都城 (8.3) , 宮崎市 (7.7) 保健所からの報告が多く、年齢別では、6 ヶ月から 5 歳で全体の約 6 割を占めた。

i) 突発性発しん Exanthem subitum

報告数は、延べ 2,177 人 (定点あたり 60.5) で、前年とほぼ同数、例年の約 9 割、全国の 1.8 倍であった。地域別では、宮崎市 (76.4) , 都城 (76.2) , 延岡 (65.3) 保健所からの報告が多かった。年齢別では、1 歳が最も多く全体の約 6 割を占め、1 歳以下が 98% であった。

j) 百日咳 Pertussis

報告数は、延べ 86 人 (定点あたり 2.4) で、前年の 7.8 倍、例年の 4.4 倍、全国の 1.1 倍と多く、流行の年であった。また、全国的にみても定点あたりの報告総数は例年の 3.6 倍で流行の年であった。地域別では、小林 (17 人 (5.7) ) , 都城 (30 人 (5.0) ) , 延岡 (13 人 (3.3) ) 保健所からの報告が多かった。年齢別では、すべての年齢層から報告されたが、特に 10~14 歳が 28% , 20 歳以上が 17% , 1 歳が全体の 12% と多かった。

k) ヘルパンギーナ Herpangina

報告数は、延べ 1,584 人 (定点あたり 44.0) で、前年の約 4 割、例年の約 6 割と少なく、全国と比べると 1.2 倍であった。流行の時期や期間は例年とほぼ同じであったが、流行時の報告数が例年に比べ少なかった。地域別では、日向 (120.8) , 延岡 (102.3) 保健所からの報告が多かった。年齢別では、1 歳が最も多く全体の約 4 割、6 ヶ月から 3 歳で約 8 割を占めた。

l) 流行性耳下腺炎 Mumps

報告数は、延べ 2,788 人 (定点あたり 77.4) で前年の 1.4 倍、例年の 1.3 倍、全国の 3.6 倍と多かった。特に流行の時期は見られず、18 週以降で報告数のやや多い状況が見られた。地域別では、

都城（144.3），高鍋（134.8），小林（113.7），高千穂（100.0）保健所からの報告が多く，年齢別では2歳から6歳で全体の約7割を占めた。

## 2)眼科及び基幹定点報告疾患

眼科対象疾患の報告総数は，486人（定点あたり81.0）で，前年の1.1倍，例年の約6割，全国の2.2倍であった。

基幹定点報告疾患の報告総数は，76人（定点あたり10.9）で，前年及び例年の約8割，全国の約4割と少なかった。

### a)急性出血性結膜炎

#### Acute hemorrhagic conjunctivitis

報告数は2人（定点あたり0.3）で，前年の7割，例年の約1割，全国の約3割と少なかった。宮崎市と都城保健所からの報告で，30歳代と50歳代であった。

### b)流行性角結膜炎 Epidemic keratoconjunctivitis

報告数は484人（定点あたり80.7）で，前年の1.1倍，例年の約6割，全国の2.2倍であった。地域別では，宮崎市保健所（126.3）からの報告が多く，年齢別では，1歳から4歳と20歳代，30歳代がそれぞれ約2割を占めた。

### c)細菌性髄膜炎 Bacterial meningitis

報告数は9人（定点あたり1.3）で，前年の約9割，例年の約7割と少なく，全国の1.4倍と多かった。地域別では，延岡（5.0），宮崎市（3.0），都城（1.0）保健所からの報告で，年齢別では，0歳が全体の約3割，1～4歳が約6割，70歳以上が約1割であった。

### d)無菌性髄膜炎 Aseptic meningitis

報告数は28人（定点あたり4.0）で，前年の1.3倍，例年の1.1倍，全国の2.6倍と多かった。地域別では，延岡（12.0），宮崎市（9.0），都城・小林（3.0）からの報告が多かった。年齢別では，5～9歳が7人（25%）と最も多く，1～4歳・10歳代・30歳代がそれぞれ5人（18%），0歳が3人（11%）と多かった。

### e)マイコプラズマ肺炎 Mycoplasmal pneumonia

報告数は24人（定点あたり3.4）で，前年の約4割，例年の約半数，全国の約2割と少なかった。地域別では，延岡（7.0），高鍋（5.0），宮崎市・

都城・小林・日向（3.0）からの報告で，年齢別では，1～4歳と5～9歳がそれぞれ7人（29%），10～14歳が6人（25%）と多かった。

### f)クラミジア肺炎 Chlamydial pneumonia

報告数は15人（定点あたり2.1）で，前年の1人（0.1）に比べ，非常に多かった。また，全国と比べても1.6倍と多かった。地域別では，高鍋（8.0），小林（6.0），宮崎市（1.0）からの報告で，年齢別では，1～4歳と70歳以上がそれぞれ6人（40%）で多かった。

## 3)月報告対象疾患

性感染症と薬剤耐性菌感染症の報告総数は計1,043人（定点あたり108.5）で，前年の86%，例年の79%，全国の91%と少なかった。

性感染症の報告総数は614人（定点あたり47.2）で，前年の78%，例年の59%，全国の87%と少なかった。性器クラミジア感染症と淋菌感染症は，年々減少傾向で，性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマは横ばい状態である。

薬剤耐性菌感染症の報告総数は429人（定点あたり61.3）で，前年の93%，例年の108%，全国の95%であった。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症と薬剤耐性緑膿菌感染症の報告数は少ないかほぼ同数であったが，ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告数は多かった。

### a)性器クラミジア感染症

#### Genital chlamydial infection

報告数は392人（定点あたり30.2）で，前年の約9割，例年の約7割と少なく，全国とほぼ同数であった。地域別では，日向（82.0），都城（50.0），延岡（33.5）保健所からの報告が多かった。男女ほぼ同数で，年齢別では，20歳代が全体の約半数，30歳代が約2割を占めた。

### b)性器ヘルペスウイルス感染症

#### Genital herpetic infection

報告数は88人（定点あたり6.8）で前年の約7割，例年及び全国の約8割と少なかった。地域別では，日向（20.0），宮崎市（10.0）保健所からの報告が多かった。男性が約2割，女性が約8割で，年齢別では，30歳代が全体の約3割，20歳代が約2割を占めた。

c)尖圭コンジローマ *Condyloma acuminatum*

報告数は35人(定点あたり2.7)で、前年の約6割、例年の約8割、全国の約4割と少なかった。地域別では、日向(6.0)、宮崎市(3.5)、都城(3.0)保健所からの報告が多かった。男性が約4割、女性が約6割で、年齢別では、20歳代が全体の約半数、30歳代が2割を占めた。

d)淋菌感染症 *Gonorrhea*

報告数は99人(定点あたり7.6)で前年の約6割、例年の約3割、全国の約7割と少なかった。地域別では、都城(14.0)、延岡(13.0)、日南(11.0)保健所からの報告が多かった。男性が9割、女性が1割で、年齢別では、20歳代が全体の約4割、30歳代が約3割を占めた。

e)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

*Methicillin-resistant Staphylococcus aureus*  
infection

報告数は349人(定点あたり49.9)で、前年の約9割、例年の1.1倍、全国とほぼ同数であった。地域別では、宮崎市(112.0)、延岡(59.0)、日南(53.0)保健所からの報告が多く、年齢別では、70歳代以上が全体の約7割を占めた。

f)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

*Penicillin-resistant Streptococcus pneumoniae*  
infection

報告数は73人(定点あたり10.4)で前年の1.4倍、例年の1.2倍、全国の約9割であった。地域別では、宮崎市(48.0)と高鍋(25.0)保健所からの報告で、年齢別では、0歳が全体の約2割、1~4歳が約4割、70歳代以上が約3割を占めた。

g)薬剤耐性緑膿菌感染症

*Multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa*  
infection

報告数は7人(定点あたり1.0)で、前年の約半数、例年の約7割、全国とほぼ同数であった。地域別では、延岡(6.0)と宮崎市(1.0)保健所からの報告で、年齢別では、50歳代が1人、60歳代が4人、70歳以上が2人であった。

4)その他

平成18年に8例のレプトスピラ症患者が発生した。本事例の全体像の確認、感染経路・感染源・

感染危険因子を特定するため、関係機関へ協力を要請し、平成18年度には環境調査を含めた疫学調査を実施した。

さらに、その結果に基づき、レプトスピラ症の蔓延防止と早期発見・早期診断を目的として、平成19年度と20年度には、啓発活動やヒト及びイヌのレプトスピラ症強化サーベイランス、医師及び獣医師に対するアンケート調査を実施した。特に8月から11月に実施したサーベイランスのヒト症例の調査では、積極的症例探索と検査支援を、動物の調査では、イヌの全数報告サーベイランスと検査定点サーベイランスを実施した。

## まとめと考察

全数把握対象疾患のうち、結核は、県内全域で2歳から90歳代までの幅広い年齢層で報告された。デング熱は海外での感染例で、県内初の報告であった。また、低年齢層からのウイルス性肝炎の報告や、平成17年・18年には報告がなかった麻疹の発生や、国内5例目の死亡例も含まれた日本紅斑熱の発生など、報告数は減少することはない、また、感染症の種類も年々増加している。

5類感染症のうち、定点把握疾患のインフルエンザと小児科対象疾患の報告総数は、前年の94%、例年の98%とやや少ない状況ではあったが、全国と比べると179%と非常に多かった。

県内の報告総数のみを比較すると、大きな変化はみられないようであるが、疾患別にみると百日咳、手足口病、RSウイルス感染症の報告が非常に多く、流行の年であった。

また、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症は、特定地域に偏って大きな流行が発生しており、感染症の流行に地域差が見られた。

さらに、インフルエンザでは、2峰性のピークが見られるとともに、年間を通じて発生が確認されるなど、感染症の季節性に変化のみられた年でもあった。

眼科疾患の報告総数は、前年の約1.1倍であったが、例年の約6割と減少傾向である。しかし、全国と比べると約2.2倍で依然として多い状況で

ある。

性感染症の報告総数は、前年の約 8 割、例年の約 6 割と減少し、年々減少傾向がみられる。また、全国と比べても約 9 割と少なかった。年齢別では、20 歳代前半から 30 歳代の報告が多くなっている。

今年の調査結果から、流行発生時期のずれや、他の地域と異なる流行状況を示す疾患があること

も確認され、地域的な発生動向調査の重要性が示された。今後も引き続きデータの集積を行い感染症の発生動向に注意していくとともに、適切な情報の提供と感染予防への啓発は若年齢層から行っていく必要がある。

Table 1 The number of the sentinel clinics and hospitals by the health center

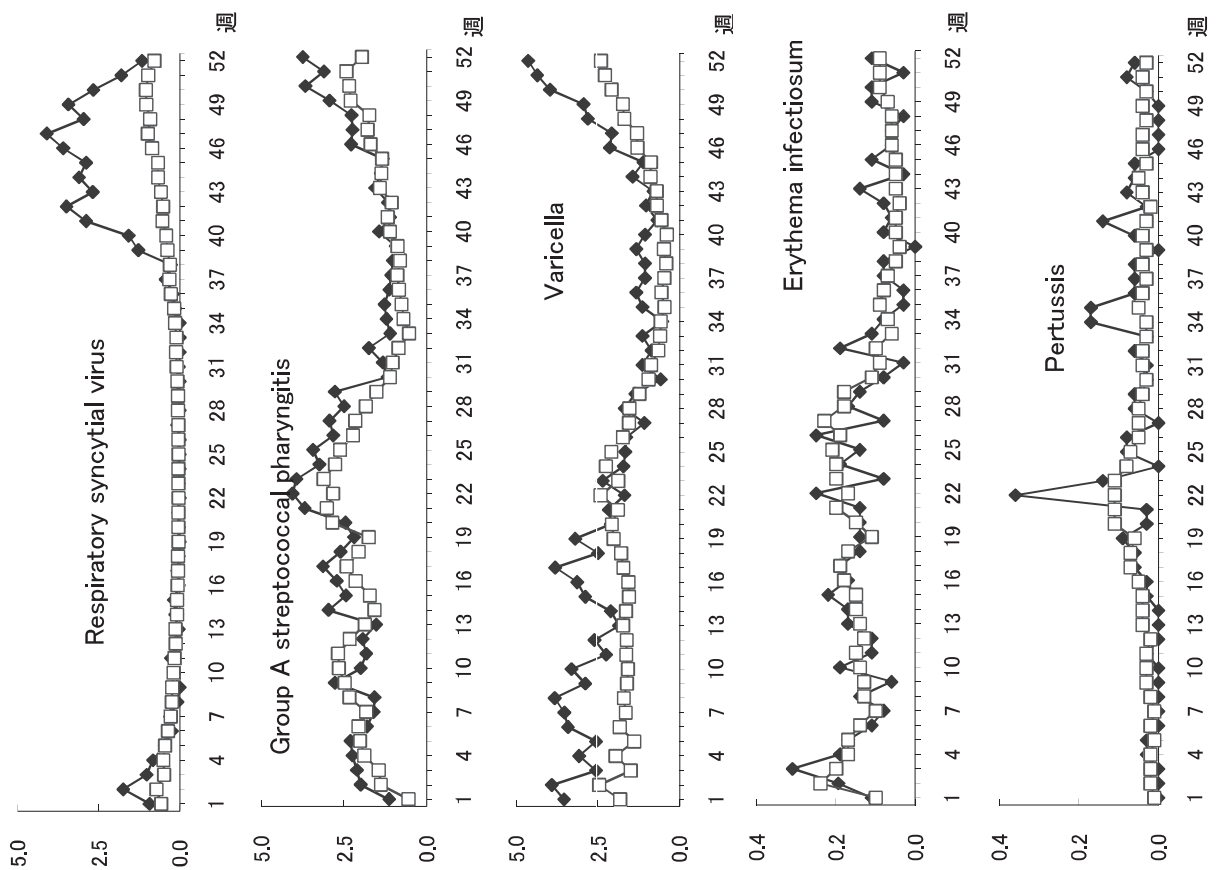
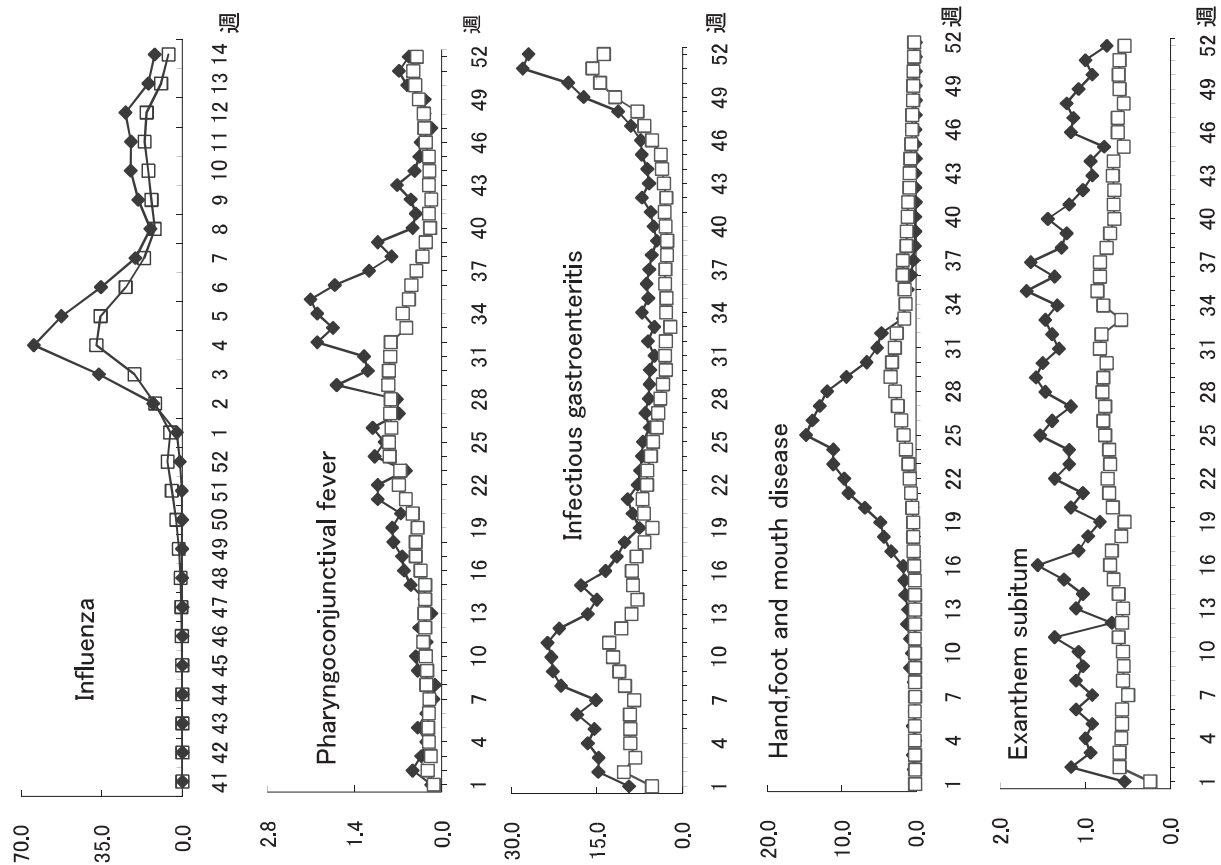
| Health center | Number of the sentinel clinics and hospitals |                    |                     |                                                              |                              |
|---------------|----------------------------------------------|--------------------|---------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------|
|               | Influenza disease                            | Pediatric diseases | Ophthalmic diseases | Diseases reported from specially-designated sentinel clinics | Sexually-transmitted disease |
| Miyazaki-city | 15                                           | 9                  | 3                   | 1                                                            | 4                            |
| Miyakonojo    | 10                                           | 6                  | 2                   | 1                                                            | 2                            |
| Nobeoka       | 7                                            | 4                  | 1                   | 1                                                            | 2                            |
| Nichinan      | 5                                            | 3                  |                     | 1                                                            | 1                            |
| Kobayashi     | 5                                            | 3                  |                     | 1                                                            | 1                            |
| Takanabe      | 6                                            | 4                  |                     | 1                                                            | 2                            |
| Takachiho     | 2                                            | 1                  |                     |                                                              |                              |
| Hyuga         | 6                                            | 4                  |                     | 1                                                            | 1                            |
| Chuo          | 3                                            | 2                  |                     |                                                              |                              |
| total         | 59                                           | 36                 | 6                   | 7                                                            | 13                           |



Table 2 Summary of incidence of the category V diseases in Miyazaki prefecture.

| Disease name                                                   | Number of the reports | Number of the reports per a sentinel | Age distribution |            | The ratio against Miyazaki (2007) (%) | The ratio with average of the past five years (%) | The ratio against Japan (2008) (%) |
|----------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------|------------------|------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------|
|                                                                |                       |                                      | Major group      | Ratio※ (%) |                                       |                                                   |                                    |
| Influenza                                                      | 20,507                | 347.6                                | ≤5               | 38         | 150                                   | 116                                               | 138                                |
|                                                                |                       |                                      | 6-9              | 27         |                                       |                                                   |                                    |
| Respiratory syncytial virus                                    | 1,645                 | 45.7                                 | ≤1               | 77         | 134                                   | 274                                               | 258                                |
| Pharyngocconjunctival fever                                    | 1,352                 | 37.6                                 | 1-5              | 77         | 180                                   | 120                                               | 171                                |
| Group A streptococcal pharyngitis                              | 4,069                 | 113.0                                | 3-6              | 58         | 95                                    | 108                                               | 122                                |
| Infectious gastroenteritis                                     | 21,439                | 595.5                                | 1-4              | 50         | 102                                   | 100                                               | 170                                |
| Varicella                                                      | 4,084                 | 113.4                                | 1-2              | 49         | 75                                    | 79                                                | 152                                |
| Hand, foot and mouth disease                                   | 5,721                 | 158.9                                | 1-2              | 49         | 179                                   | 252                                               | 330                                |
| Erythema infectiosum                                           | 226                   | 6.3                                  | 6M-5             | 59         | 36                                    | 37                                                | 98                                 |
| Exanthem subitum                                               | 2,177                 | 60.5                                 | 6M-1             | 92         | 100                                   | 93                                                | 177                                |
| Pertussis                                                      | 86                    | 2.4                                  | 1                | 12         | 782                                   | 441                                               | 108                                |
|                                                                |                       |                                      | 10-14            | 28         |                                       |                                                   |                                    |
|                                                                |                       |                                      | ≥20's            | 17         |                                       |                                                   |                                    |
| Herpangina                                                     | 1,584                 | 44.0                                 | 6M-3             | 83         | 41                                    | 59                                                | 117                                |
| Mumps                                                          | 2,788                 | 77.4                                 | 2-6              | 65         | 138                                   | 125                                               | 358                                |
| Acute hemorrhagic conjunctivitis                               | 2                     | 0.3                                  | 30's&50's        | 100        | 67                                    | 8                                                 | 26                                 |
| Epidemic keratoconjunctivitis                                  | 484                   | 80.7                                 | 1-4              | 17         | 112                                   | 63                                                | 224                                |
|                                                                |                       |                                      | 20's-30's        | 38         |                                       |                                                   |                                    |
| Bacterial meningitis                                           | 9                     | 1.3                                  | 0                | 33         | 90                                    | 74                                                | 141                                |
|                                                                |                       |                                      | 1-4              | 56         |                                       |                                                   |                                    |
| Aseptic meningitis                                             | 28                    | 4.0                                  | ≤9               | 54         | 133                                   | 106                                               | 258                                |
| Mycoplasmal pneumonia                                          | 24                    | 3.4                                  | 1-9              | 58         | 39                                    | 47                                                | 16                                 |
|                                                                |                       |                                      | 10-14            | 25         |                                       |                                                   |                                    |
| Chlamydial pneumonia                                           | 15                    | 2.1                                  | 1-9              | 53         | 1500                                  | 2551                                              | 156                                |
|                                                                |                       |                                      | ≥70's            | 40         |                                       |                                                   |                                    |
| Genital chlamydial infection                                   | 392                   | 30.2                                 | 20's-30's        | 70         | 91                                    | 69                                                | 103                                |
| Genital herpetic infection                                     | 88                    | 6.8                                  | 20's-30's        | 56         | 67                                    | 76                                                | 79                                 |
| Condyloma acuminatum                                           | 35                    | 2.7                                  | 20's-30's        | 66         | 55                                    | 78                                                | 44                                 |
| Gonorrhea                                                      | 99                    | 7.6                                  | 20's-30's        | 73         | 61                                    | 32                                                | 72                                 |
| Methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> infection   | 349                   | 49.9                                 | ≥70's            | 73         | 89                                    | 106                                               | 95                                 |
| Penicillin-resistant <i>Streptococcus pneumoniae</i> infection | 73                    | 10.4                                 | ≤4               | 58         | 138                                   | 122                                               | 94                                 |
|                                                                |                       |                                      | ≥70's            | 34         |                                       |                                                   |                                    |
| Multidrug-resistant <i>Pseudomonas aeruginosa</i> infection    | 7                     | 1.0                                  | ≥60's            | 71         | 47                                    | 70                                                | 102                                |

※ Ratio for the number of all report.



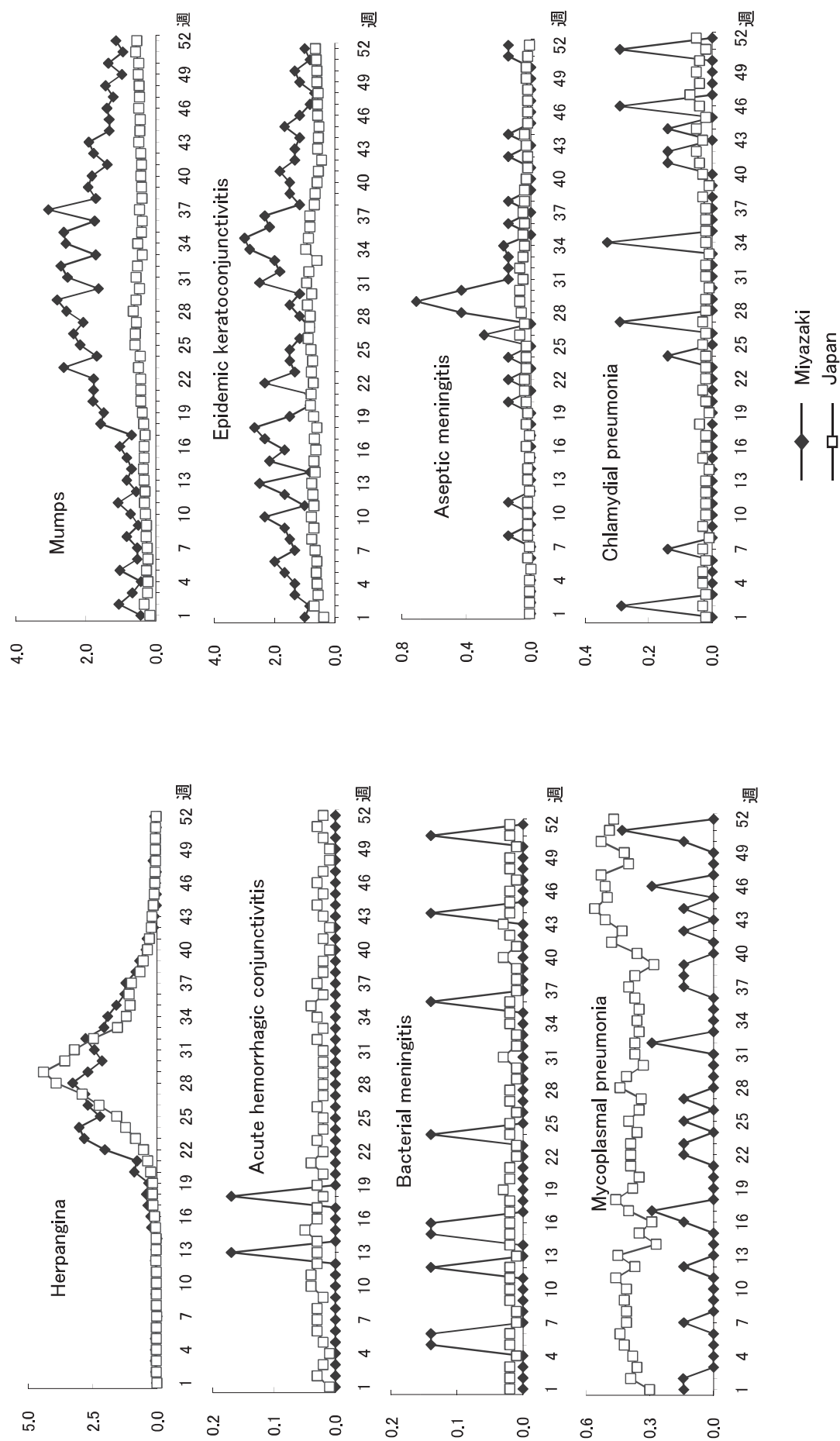


Fig.1 Weekly report of category V Influenza , Pediatrics diseases and Diseases reported from specially-designated sentinel clinics .